

平成29年3月15日

足立区立西新井第二小学校  
校長 油井喜久様

足立区立西新井第二小学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 木村 寛治

## 平成28年度 学校関係者評価書

### 1 評価の基本的な視点（姿勢）

自己評価書及び学校教育アンケート（保護者・児童）とともに、年間の学校教育を観察・考察し、広い視点から学校関係者評価を実施する。

#### 2-1 今年度の重点目標と取り組み

児童の健全育成（知・徳・体）の立場から①基礎・基本の学力の定着②豊かな心の育成③体力の向上等の取り組みに対して成果を認めることができる。特に基礎学力向上のために放課後補習教室を毎日30分行っている。また、体力向上のための始業前の運動や日常的な外遊びの励行等が欠席児童の減少や、学校へ行くことが楽しい（児童へのアンケート）等に表れている。知・徳・体の調和ある教育活動が今年度も展開されている。

#### 2-2 基礎・基本の学力の定着・向上

昨年度に引き続き、基礎学力の定着・向上に向けて、授業の他に「西二タイム」（国語と算数で、各児童のつまづいているポイントまで立ち戻って学習する時間）や「朝学習（計算練習や漢字学習）」「児童一人一人のポートフォリオ作成」「放課後補習教室」「家庭学習の推進」等、多くの工夫や努力をしている。4月の足立区学力向上に関する総合調査の結果を見ると、今年度の学校全体の平均正答率は、昨年と比較して、2教科で1.9ポイント、国語は3.9ポイント上昇した。2月に行った再調査でも、通過率が算数87.0%、国語92.2%となったことから、一定の成果を認めることができる。

#### 2-3 豊かな心の育成

毎年、保護者を対象として実施している学校教育アンケートの「道徳教育に力を注ぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。」という質問に関して、肯定する回答が今年度も85%に達した。また、高学年児童へのアンケートによると、「友達の嫌がることしないよう心がけている」という回答が昨年度より8%上昇して98%に達した。これは、友達と仲が良くすることの基本となる意識が定着していることを示している。ここ数年、「いじめ防止のための教育活動」を重視して取り組んでいることが結実しつつあるといえる。本校の児童について、多くの方々から「西二小の児童は子供らしくて、素直である」との声をよく聞く。児童の健全育成については、今後も学校、家庭、地域全体の三者協働で取り組んでいくことがよき伝統として築かれるであろう。

#### 2-4 体力の向上

児童は「よく遊び、よく学ぶ」ことが大切とされている。遊びの中に自分を発見し、自分の課題を見つけることが多い。さらに健康寿命を延ばす基礎は児童期の生活習慣が大きい。

く影響する。本校では休み時間に外遊びを励行しているが、多くの教員も児童と共に外へ出て遊び、児童のよき環境となっている。高学年児童へのアンケートでも「外遊びをどう思うか」の質問は、肯定的評価が昨年度より6%上昇して89%の児童に達している。

今後も、伝統的な持久走記録会や「西二ギネス」等の取り組みを通じて、児童の体力向上を図ってほしいと願う。

## 2 - 5 学校と保護者の関係

学校教育アンケート（保護者）の回収が、昨年度より15%上昇して、家庭数の55%となった。しかも、肯定的回答の割合が90%を超えた項目が20項目中9項目に達していることから、例年に増して、保護者は、学校に対して、強い信頼を寄せていることが分かる。この信頼を基盤にして、学校と保護者の協力関係を基にした児童主体の教育活動を今後も進めていくことが望ましいと考える。

## 2 - 6 保護者と地域との関係

学校の教育活動に対して一人一人の児童の人間性豊かな成長を目指して、精一杯協働して努力されている。

## 2 - 7 学校教育活動の課題

家庭教育の在り方を協議会では、今年度も継続して話題にしてきた。学校教育アンケートでは「家庭学習の充実を図っている」と答えた保護者は昨年度より1%上昇して90%であった。高い割合の理由には、保護者の協力意識が大きいと言える。

家庭学習の定着については、家庭の状況により困難な場合もあるが、学校から家庭への働きかけと連動して、PTAや協議会としても協力していくことが大切である。

## 3 足立区教育委員会への要望

- ① 校舎の老朽化が進んでいる。特に、床（長尺シート）の剥がれや教室出入り口ドアの不具合など、児童の安全に少なからず影響が出そうな箇所も見受けられる。早急な修繕工事や校舎改修を進めていただきたい。
- ② 教員の事務量の軽減  
教員間の共通理解を深め、日常の教育活動を充実させていくためには、教員の事務量を減らす必要がある。
- ③ 学校図書館の充実  
図書ボランティアの方が長期間活動を続け、蔵書の修繕や整理、図書室の美化等、努力されている。さらに今年度から、協議会として、月1回「読み聞かせ会」を実施して、児童の読書意欲の向上を図ることにした。そのため、学校図書館の蔵書を含め、なお一層の充実が必要である。